

PRESS RELEASE

株式会社 LIXILグループ

報道関係各位 2020 年 6 月 23 日

開発途上国向けの手洗いソリューション「SATO Tap」を開発 新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、総額約1億円を拠出し 新ソリューションの供給拡大を加速

株式会社 LIXIL グループ (以下 LIXIL グループ) は、住生活に関わる製品・サービスをグローバルに展開するリーディング企業として、世界の衛生課題の解決に貢献するソーシャルビジネス「SATO」を手がけていますが、この度、上下水道が整備されていない地域でも利用が可能な開発途上国向け手洗いソリューション「SATO Tap」を発表しました。「SATO Tap」は、水道が利用できない地域でも、家庭で手洗いができるような設計と低価格を実現しています。



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染予防には、石鹸での丁寧な手洗いが有効な手段とされていますが、世界では約30億人にのぼる人びとが、手洗い設備を利用できない*1という現実があります。国連児童基金(ユニセフ)の最新調査によると、世界人口の40%が基本的な手洗い設備が自宅で利用できず、このような家庭の割合は、後発開発途上国においては75%にのぼります。COVID-19の脅威の中で、世界の多くの人びとが、衛生的な水やトイレ、手洗い設備が利用できない状況に置かれているという深刻な課題が浮き彫りとなりました。

このような状況に対し LIXIL グループでは、多くの人びとの健康を守ることができるよう、衛生的な手洗い設備を迅速に提供するとともに、長期的な視点で手洗いの普及を目指し支援していきます。この取り組みの一環として、SATO ブランドが開発した新しい手洗いソリューション「SATO Tap」の提供開始にあたり、LIXIL グループでは、総額約 1 億円(US\$100 万)を拠出します。より多くの人びとに利用していただけるよう、迅速にこのソリューションを届け、長期にわたって手洗いができる環境づくりを支援していきます。LIXIL グループはさまざまなパートナーとも連携することで、500 万人の衛生環境の改善につなげることができるよう、「SATO Tap」の提供拡大と手洗いの普及を推進していきます。





LIXIL グループ 社長兼 CEO の瀬戸欣哉は、次のようにコメントしています。「LIXIL は、事業活動を通じて、より豊かで快適な住まいと暮らしを実現することを目指し、様々な取り組みを推進しています。COVID-19 の感染拡大は、開発途上国で暮らす多くの人々にとって大きな脅威となっています。感染予防のための手洗いが必要とされているのにもかかわらず、世界の 5 人に 2 人が、手洗いをするための基本的な設備が家では利用できない状況にあります。優れたデザイン、高い技術力と専門性を生かして開発された『SATO Tap』は、世界で手洗いを普及させ、多くの人びとの衛生環境の改善に貢献できるソリューションであると確信しています。手洗い設備を最も必要とする人びとに、このソリューションを届けることができるよう、当社が資金面でも支援を行い、提供拡大を進めていきます。また、ユニセフをはじめとするパートナーの皆さまがこの取り組みに賛同し、多くの人びとの命を救うために協力してくださっていることに感謝しています。今後、さらに多くの方々と連携することで、誰一人取り残すことなく、衛生環境の改善を目指してまいります。」

LIXIL グループは、ユニセフをはじめ、様々なパートナーから「SATO Tap」の設計や技術面について助言を受け、手洗い設備を必要とするコミュニティのニーズに適した仕様を実現しました。「SATO Tap」は、プラスチック製の本体とノズルで構成されており、広く普及しているさまざまな形状のペットボトルに対応しています。エンドユーザーや様々なステークホルダーからの意見をふまえ、開発途上国で利用されている既存のソリューションを分析した上で、この独自のデザインが生まれました。小型のため、各家庭の屋内での使用だけでなく、公共の手洗い施設に設置することも可能です。できるだけ手で触れずに操作できる設計により、感染リスクを軽減しています。さらに、手を洗うのに十分な水量を確保しつつ、一度に出る水量を極力おさえたことで、水を詰め替える頻度を減らし、水を無駄なく利用することができます。

LIXIL グループは、今後、最も必要としている家庭に手頃な価格の手洗いソリューションとして「SATO Tap」を提供するだけでなく、ユニセフとの既存のパートナーシップにより、COVID-19 の感染拡大防止に向けて手洗い・衛生分野での活動を拡大していきます。開発途上国の商習慣や行動様式に関する情報に基づいて行動変容を促すほか、衛生プログラムを推進するための共同提言、官民双方の既存のネットワークとサプライチェーンを最大限に活用して手洗い設備の普及活動を進めるなど、多岐にわたる活動を展開します。

ユニセフの水と衛生部門アソシエイト・ディレクターのケリー・アン・ナイラー氏は次のようにコメントしています。「手洗いは感染症対策として、最も効果的な方法の一つです。しかし、最も貧しく脆弱なコミュニティでは、基本的な手洗い設備が利用できないため、COVID-19の感染リスクを高めています。世界的なパンデミックを受け、LIXILをはじめとする官民双方のパートナーと連携して、世界中の誰もが手洗いができるような衛生環境を整備することがこれまで以上に重要になっています。」

SATO の Chief Technology and Marketing Officer の石山大吾は次のようにコメントしています。「COVID-19 をはじめとする感染症から身を守るためには、石鹸と水で手を洗うことは最も費用がかからず、有効な方法だといえます。しかしながら、世界の多くの人にとって手洗いという行為は、いまだにやりたくてもできないことなのです。私たちは COVID-19 によるさまざまな制約の中で、どうす

れば革新的なソリューションを生み出すことができるかを考えました。開発途上国の多くの家庭では、水道が通っていませんが、最低限の水はどうにか確保できることと、ペットボトルは比較的容易に手に入れることに着目しました。これまで同様、SATOのソリューションは、手頃な価格で、製造や輸送が簡単にでき、子供にも使いやすく、信頼性が高く、水を節約できるという現地のニーズに適したものでなくてはいけません。『SATO Tap』は、水と重力の特性を生かしたシンプルなオンとオフとの切り替え構造が特徴ですが、これは接触による感染リスクの軽減にもつながると考えています。」

LIXIL のソーシャルビジネスである SATO ブランドでは、低価格の開発途上国向け簡易トイレシステムを開発し、衛生ソリューションの提供を通して 38 カ国以上、1,800 万人以上の人々の衛生環境の改善に貢献してきました。今回新たに開発した「SATO Tap」は、SATO ブランド初の手洗いソリューションであり、これまでの SATO 製品と同様に、利用者の視点に立ったデザインであるとともに、事業としての実現可能性と持続可能なアプローチを重視しています。



「SATO Tap」は、まずインドを皮切りに生産を始め、2020年9月よりパートナー向けに先行して提供を開始します。2021年初旬までに、生産をさらに拡大し、一般向けの販売を開始する予定です。加えて、アジア以外にも提供を拡大するため、アフリカなどその他の市場でも、ライセンス生産を行う企業と協働していく予定です。LIXILグループは、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の目標6「安全な水とトイレを世界中に」の達成に向けて、継続的に取り組んできましたが、「SATO Tap」の開発、提供はこうした活動の一環です。

「SATO Tap」の詳細については、以下をご覧下さい。

SATO Tap:新しい衛生ソリューションで手洗いをすべての人に:こちら

SATO Tap 製品サイト (英語のみ): www.sato.lixil.com/satotap

■LIXIL について

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約75,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ(証券コード: 5938)は、2020年3月期に1兆6,944億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて: www.lixil.com/jp、https://www.facebook.com/lixilcorporation/